

教科目名 情報特論Ⅰ (Advanced Course of I Information)

学科名・学年 : 制御情報工学科 3年

単位数など : 必履修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間 45時間)

担当教員 : 青木照子

授業の概要				
コンピュータ技術者のための初級アドミニストレータ試験に合格するために必要な情報関連の総合知識を身に付ける。学習内容はコンピュータ全般の基礎知識を学習する。コンピュータの使い方, 業務分析の知識, システム運用, パソコンにかかわる知識全般, システムの運用管理などである。				
達成目標と評価方法		大分高専目標(B2), JABEE 目標(c) (d1②)		
(1) コンピュータ全般について理解できる。(定期試験と課題)				
(2) 初級システムアドミニストレータ試験を受験する能力を得ることができる。(課題)				
(3) 基本情報技術者試験への足がかりを得ることができる。(定期試験と課題)				
(4) コンピュータを道具として役立てることができるための知識を得ることができる。(定期試験と課題)				
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検	
1-3	1. 仕事とコンピュータ (1) コンピュータシステム使い方	○コンピュータシステムについて理解する。	【理解の度合い】	
4-6	(2) 業務分析の手法と知識	○データの収集, データの整理分析, データの表し方などについて理解する		
7	3. これまでの復習			
8	前期中間試験			【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	○自身の理解力を分析し、学習を工夫する。		【理解の度合い】
10, 11	4. 業務システム (1) 業務システムの概要	○業務システムの考え方とシステム開発の手順を理解する。		【理解の度合い】
12	(2) ヒューマンインタフェース	○ヒューマンインタフェース設計の重要性を理解する。		
13	(4) システム運用の支援	○システムテストおよびシステム運用について理解する。		
14	5. これまでの復習			
15	前期期末試験 前期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点	
16	5. エンドユーザコンピューティング (1) パソコンのハードウェア	○パソコンの基本構成や仕組みおよび CPU, メモリなどについて理解する。	【理解の度合い】	
17	(2) パソコンのソフトウェア	○プログラミング言語や OS などを理解する。		
18	(3) 表計算とデータベース	○表計算や関係データベースなどを理解する。		
19	(4) パソコンとネットワーク	○ネットワークの概要などを理解する。		
20	(5) パソコンの多様な活用方法	○マルチメディアなどなどを理解する		
21	(6) オフィス環境	○オフィス環境について理解する。		
22	6. これまでの復習			
23	後期中間試験		【試験の点数】 点	
24	後期中間試験の解答と解説	○自身の理解力を分析し、学習を工夫する。	【理解の度合い】	
25	7. システム環境と運用管理 (1) システムの環境整備	○システム的环境設定について理解する。	【理解の度合い】	
26	(2) システム運用の運用管理	○ファイル管理やセキュリティなどを理解する。		
27-29	8. これまでの復習			
30	後期期末試験 後期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点	
履修上の注意	授業中や宿題の課題に重点を置く。欠課は態度点として減点対象となるので決して休まないこと。		【総合達成度】	
教科書	早川芳彦ほか共著, 2005年版初級シニア標準教科書, オーム社			
参考図書	初級シニア試験に関する参考図書は図書館や書店にたくさんある。			
関連科目	情報特論Ⅱ, 情報特論Ⅲ			
総合評価	達成目標の(1)~(4)について4回の試験と課題で評価する。 総合評価=0.7×(4回の定期試験の平均)+0.3×(課題の点数)-態度点 態度点は欠課1×2点を最高30点まで減じる。 総合評価が60点以上を合格とする。			【総合評価】 点